

News Release

報道関係 各位

2025年2月18日

【イベント開催報告】

青年技術士支援委員会 「エンジニアのための交渉術入門 ～分析から合意形成まで～」 対面開催にて大盛況で終了！

公益社団法人日本技術士会青年技術士支援委員会(村上玲委員長)は、2月15日(土)に東京都港区芝公園3丁目5-8にある機械振興会館にて、技術士のコンピテンシーの内、「問題解決」、「リーダーシップ」、「コミュニケーション」の向上を目的とした「交渉」がテーマのイベントを開催しました。本イベントでは、講義、個人ワーク、グループワークを通して、交渉の一連のプロセスを体系的に学習しました。最後に、実際の交渉場面を想定したロールプレイにより、講義やワークで学んだ知識を実践しました。このイベントには45歳以下の技術者29名が参加し、大盛況のうちに終了しました。

イベント詳細

本イベントは、交渉プロセス全体を体系的に習得することを目的として、4つのパート「分析、交渉計画、コミュニケーション・クロージング、交渉ロールプレイ」を実施しました。また、イベント全体を通して、実際の交渉場面を想定したロールプレイの題材(①納品したモーターの故障による顧客対応、②公共工事における受発注者間の交渉)を基に、各交渉プロセスの学習とワークに取り組みました。

分析のパートでは、「協力できること探し」という観点から、自分と相手の立場の明確化や利害関係の分析の重要性を学びました。続いて、実際の交渉場面の題材に基づき、ニーズマトリクスというフレームワークを用いて、自分と相手のニーズを整理し、その後グループシェアを実施して理解を深めました。

交渉計画のパートでは、「分配型」、「統合型」といった交渉の種類を学び、各型における基本的な交渉戦術を学習しました。その後、実際の交渉場面の題材に基づき、個人ワークおよびグループワークを通じ、合意できない場合の代替案(BATNA)の設定や目標ライン・限界ラインの検討、交渉が合意に至る範囲の想定、最終的な方針を交渉計画シートにまとめ、実践的な交渉計画を策定しました。

コミュニケーション・クロージングのパートでは、交渉における信頼関係の構築の重要性と、これに有効なFBI式アクティブリスニング手法を学び、その後、交渉のクロージング方法について5つのステップを学習しました。さらに、参加者は2人一組に分かれてコミュニケーションのワークに取り組み、学習した手法の効果を体感しました。

最後に、交渉計画パートにて策定した交渉計画シートを基に、実際の交渉場面を想定したロールプレイを実施しました。これまでの講義およびワークで得た知識を実践し、コミュニケーション手法、クロージングを練習しました。ロールプレイ後には、グループでの振り返りを行い、学習した交渉プロセスの成果について確認しました。

参加者からは「新しい交渉に関する知識を得られた。自身の交渉時の反省点が分かった」、「日常においても、交渉ごとの準備、分析や計画を意識していきたい」、「交渉の全体像と進め方を実践を通して利害の理解度が深めることができた」との声が寄せられました。



講義の様子



グループワークの様子



交渉ロールプレイの様子

【本イベントに関するお問い合わせ】

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会 委員長 村上 玲

委員会内広報グループ：山本直樹E-mail：pr@peyec.jp ※取材の際は左記までお問い合わせください。

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会とは？

公益社団法人 日本技術士会は技術士制度の普及・啓発に取り組んでいる唯一の全国組織です。当会は、日本技術士会内に設けられた委員会組織で、45歳以下の技術士、技術士補、修習技術者から構成され、若手技術士に向けた研鑽事業の企画・実施・支援をしています。

